



令和4年度秋田県スポーツ少年団市町村本部長会議

- 期 日 9月14日(水)
- 会 場 秋田県スポーツ科学センター
- 参加者 40名

秋田県スポーツ少年団は9月14日、県内25市町村のスポーツ少年団本部長等を集め、「運動部活動の地域移行」をテーマに「市町村本部長会議」を開きました。

今年度上半期のスポーツ関連のニュースで大きな議論を呼んだのは、「公立中学校の運動部活動の主体を学校から地域社会に移行させる」としたスポーツ庁有識者会議の提言でした。

提言では、令和5年度からの3年間を「改革集中期間」と位置づけ、まずは休日の活動から移行させるとしていますが、地域の受け皿不足や財源、保護者の経費負担等を心配する声は多く上がっています。

そこで今回は、提言の趣旨や目指す方向性等の理解を深めるため、スポーツ庁地域スポーツ課の橋田裕(ひろし)課長からオンラインで特別講演を行っていただきました。

橋田課長は平成21年から3年間、県教育庁保健体育課長、義務教育課長を歴任され、本県の学校事情やスポーツ事情に精通しています。

橋田課長は講演で、公立中学校の運動部活動を地域スポーツ団体や民間事業者に委ねる地域移行については、「地域の実情に応じて丁寧に進める」、「平日の移行については、改革集中期間の3年間の取組を検証してから検討する」との姿勢を示しました。

また、地域移行の目指す姿として、持続可能なスポーツ環境を一体的に整備しつつ、子どもたちの多様な体験機会を確保することや、学校の働き方改革を推進し、

教育の質を向上させることなどを強調しました。

さらに、予想される様々な課題に対応するため、国の来年度予算の概算要求に、関係者間の連絡・調整を担うコーディネーターを自治体に配置したり、指導者確保のため人材バンクを設置したりして体制整備を進める経費約102億円を盛り込んだことも説明しました。

講演後の質疑応答では、中体連主催の大会に地域単位で出られるようになれば、好選手を寄せ集めて目先の勝利を優先するチームが現れることを懸念する声が上がりましたが、それに対して橋田課長は「中体連と連携・協力し、子どもたちにとってスポーツの『最適化』をどう図るかを重視していきたい」と述べました。

今後県内の各市町村では、地域移行に係る「協議会」を立ち上げ、関係団体を交えながら具体的な検討に入るとしています。

本団では、今回の講演が、スポーツ少年団がどういう関わり方をすればよいかを考える一助になってくれればと願っています。



橋田課長の講演に熱心に耳を傾ける参加者

第49回日独スポーツ少年団同時交流

- 期 日 8月1日(月)～5日(金)
- 会 場 オンライン
- 参加者

団員 小松原光、飯尾月葉、木谷日菜柊、佐藤真桜、須田雄太

小松原 光

私は、8月1日から8月5日まで日独同時オンライン交流に参加しました。

活動内容は、SDGsとスポーツの関係性についての話し合い、日本の新聞紙を使った遊びや、ドイツについて勉強したりしました。

特に印象に残っているのは、Skribbl.ioというお絵かきのオンラインゲームをしたことです。言葉が通じなくても絵を描けば楽しめて言語の壁なく遊べるゲームでした。

次は、現地に行き自分の肌でドイツの文化や環境に触れ、日本の事もたくさん教えてあげられたらなと思います。また、ドイツに行けるようになるまでに英語やドイツ語を勉強し、自分の口でコミュニケーションをとれるようになります。

飯尾月葉

私は今回、1日目、3日目、5日目に参加しましたが、三日間だけでもとても良い経験をする事ができました。

1番良かった経験は、言語も文化圏も違うドイツの人と交流できたことです。3日目のドイツ主催のプログラムでは、それぞれの国の街並みやお菓子の紹介をしました。その交流を通して、ドイツと日本の共通点や相違点を見つけることができました。相違点として、日本と違い、ドイツには道端に電動スクーターのようなものがあり、登録しているといつでも使うことができる便利なものがあるということが挙げられます。共通点として、日本とドイツのス

ポーツの捉え方やスポーツを通して学び育めるものなどが挙げられます。この交流を通してドイツの事はもちろん、日本についても知ることができました。

1つ惜しいなと思った事は、日本団でも集まって、ドイツとの交流をしなかったことです。日本団でも集まれば、もっとより良い経験とより良い交流を図れたと思います。

木谷日菜柊

言語が違う方と深いディスカッションを行うのは初めてだった。国によって考え方や暮らし方が違うため出てくる意見が違うということを実際に体験できた。ドイツはSDGsについてのCMが日本のようにテレビで流れたりしないことを知った。ドイツにはディポジット制度というものがあり、リサイクルを積極的に行っているようだった。日本人同士での事前研修を集合して行うことができたら気まずさも少なかったと思う。時間が余った時や、話の途中にドイツの方が積極的に雑談をしてくれて雰囲気や和らげてくれた。

須田雄太

今回初めて県外の方々と交流した。同時に初めてリーダー会で海外の方々とも交流した。初めての経験が重なり不安がすごくあった。今回は、コロナの影響もあり自宅でのオンライン開催となってしまい、とても残念だった。初日の途中から参加したが、zoomに入室したときからすでに議論が始まっていた何もわからず聞いていた。二日目からは、全日程参加したが、初日とは違ってとても楽しかった。特に印象に残っているのは、ドイツの団員が、ドイツの色々な観光地や、様々な体験を話してくれた事。写真も見ながら説明してくれたので、すごく楽しかった。次は東京、ドイツにも行ってみたい。

令和4年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール

- 期 日 8月9日(火)～12日(金)
- 会 場 オンライン
- 参加者

団員 佐々木風音、齋藤和奏、須田雄太

齋藤和奏

私はこの研修で自分から行動することの大切さとリーダーとしてしなければいけないことを考えなおすことができました。自分から行動するという事は、オンラインでは難しいと感じました。私は自分から発言することを心がけるようにしました。でもなかなか上手くはいきませんでした。その時、リーダーの方から相手の言ったことに共感して、自分の考えを言ってみるのも良いとアドバイスをいただき、私は発言するだけではなく、相手とコミュニケーションを取ることも大切なんだなと思いました。また、リーダーは、指導者と団員の間に入ってサポートしなくてはいけないということを知り、指導者が指導しやすい環境づくりをしたり、団員に説明をできる能力をつけなければいけないと考えました。間に入るといことはこのようなことを考えながら行動しないとイケません。実行できるように自分から行動することも心がけていきたいです。

須田雄太

県外のリーダーとの交流は初めてだったのでとても緊張した。特に事前研修の時は、1日の交流を通して全く会話ができず、お互いどんな人なのかかわ

からずに終わってしまい、先が不安に思ってしまった。しかし、そんな不安を忘れるくらい充実した1日をすごせた。持論だが、お互い自分の苦しいことを曝け出したことによって、自分の中の不安を打ち消し、仲を深められたのだと思う。それからの四日間はとても早く、あっという間に終わりの時間が来ていた。終わってみればみんなすごく残念がついて、別れ際に絶対会おうねと約束を交わせるほどにまで仲を深められていた。最高の四日間だったと思う。また機会があれば参加したい。

佐々木風音

私は、この研修を通して自分にとってとてもいい経験になりました。

テーマディスカッションでは、「withコロナ時代にどのようにしてリーダー(活動)を増やしていくか」というテーマで意見交換しました。

リーダー活動の楽しい所や今後やってみたいこと質の高いリーダーとはなどを話し合い3日間で最高のテーマディスカッションができたと思います。

指導案作成では、年齢や安全面など色々な所に配慮しながら考え自分たちなりにアレンジを加えアドバイスをもらいながらよりいい指導案に仕上がったと思います。

オンラインの開催でしたがオンラインなりの楽しさがありとてもいい経験になりました。これからのリーダー活動に活かせるように頑張りたいです。

第45回秋田県スポーツ少年団(競技別)交流大会

夏期は2種目において、競技を通じて交流を深めた。

●サッカー

6月18日～19日(雄和中央公園スカイドーム)

●参加数 32団 608名

●優勝 スポルティフ秋田スポーツ少年団



●軟式野球

8月10日～17日(さきがけ八橋球場)

●参加数 16団 330名

●優勝 牛島野球スポーツ少年団



秋田県スポーツ少年団(競技別)交流大会の下記競技は新型コロナウイルスの感染リスクを考慮し中止となりました。

●バレーボール 7月30日～31日

第50回東北地区サッカースポーツ交流大会 兼第42回東北ブロックスポーツ少年団サッカー交流大会

●期日 7月17日(日)～18日(月) ●会場 青森県 五戸町ひばり野公園サッカー場

●参加団 スポルティフ秋田スポーツ少年団 ブラウブリッツ秋田U-12スポーツ少年団

私たちの団

各団の一行目は団名(市町村)、種目、団員数(学年)、活動場所、代表指導者

大潟女子ミニバスケットボールスポーツ少年団(大潟村) バスケットボール15名(小3~小6) 大潟小学校体育館 森田 悟朗
大潟小学校 6年 森田 心花

私たち大潟ミニバスは、とても元気でよく笑うチームです。バスケが大好きな仲間です。勝利を目指す中で、チームみんなで成長し、応援してくださる地域の方々と、一緒に喜びたい、と日々活動をしています。

練習は、全力じゃんけんや手押し相撲からはじめ、大きな声で笑い、みんなで気持ちを高めます。たくさんの練習で、チームでできることが増えると、とても嬉しいです。小さいころから一緒に仲間なので、ばつぐんのチームワークです。

夏は、全県大会に出場します。冬季大会で、全国大会に出場することが目標です。大好きな仲間、コーチたち、バスケができる環境に感謝しながら、これからも練習をがんばります。



山田ミニバスケットボールスポーツ少年団(湯沢市) バスケットボール10名(小2~小6) 山田小学校体育館 柴田 泰範
山田小学校 6年 武石 来愛

山田ミニバスでは、2年生から6年生までの10人で活動しています。人数も少なく小柄な子たちばかりですが、柴田コーチの熱い指導のもと練習を日々がんばっています。夏のきびしい練習のあとは、ごほうびとして水遊びをしたりアイスを食べたりして楽しく活動しています。

目標にしている事は、全県大会に出場する事です。そのために、声をかけあい、はげましあい、みんな一つになり練習をがんばっています。そして、いつもいねいに教えてくださるコーチ、見守ってくださるお家の方々に感謝を忘れずに活動していきたいと思います。



大館柔道スポーツ少年団(大館市) 柔道33名(小1~中3) 大館市立第一中学校武道館 金澤 正勝
大館市立城南小学校 6年 金澤煌次郎

「最後の1秒まであきらめない」を目標に大館柔道スポーツ少年団は、週2回、小学生~中学生33名が稽古しています。中学生や大人に礼儀作法や技などを教えてもらい、覚えた技がきまるとうれしいです。

面白い稽古はクモ、カエル、アザラシなど動物のまねをしたり、ロープを使い綱引きなど疲れますが楽しいです。いっしょに稽古している仲間、厳しい時もありますが面白い事を言うコーチ、毎回送り迎えをしている親に感謝しながら、将来は黒帯をしめれるようにこれからも頑張っていきます。



オフィス環境のトータル・サポーター



株式会社

アシスト

- 〒010-0063 秋田市牛島西一丁目5番1号
- TEL: 018-884-7600 FAX: 018-836-6088
- E-mail: info@assist-one.co.jp

- オフィス通販『アスクール』正規取扱店
- 事務用品・事務用機器・OA機器・オフィス家具
- オフィスデザイン・プランニング設計
- 防災・災害用品資機材
- OAフロア、可動間仕切、造作家具
- インテリア製品及び内装工事設計施工

夢を支える応援団

スポーツ少年団を支える指導者・育成母集団の声

未来の目標にチャレンジ

脇本おいばなラグビースポーツ少年団

指導者(校長) 高 桑 昇

脇本おいばなラグビースクールは、小学生25人の団員で活動しています。

ラグビーを通して連帯性と自主性【挨拶・返事・話を聞く姿勢】を第一に活動しているチームです。

ラグビーは体の大きな選手、小さい選手、足が速い、足が遅くてもコンタクトが強い選手らが活躍できる様々なポジションがあり、試合では自分のポジションをしっかりプレーすることで、仲間の信頼やチームの勝利に貢献することが出来るスポーツです。また弱いところがあれば、全員で助け合いフォローすることで仲間意識が生まれます。

一人ではできなければ、みんなで助け合うワンフォール、オールフォーワン「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の精神で頑張っています。

しかし少子化に伴い団員も(脇本・船越・払戸・若美)多方面からの入団で成り立っています。去年からは船川くじらっこと合同チームで、試合に臨んでいるところです。

みんなの目標はヒーローズ全国大会で優勝することです。練習は楽しいだけではなく、きつい練習もあります。そこは「コーチスタッフ・保護者・地域の皆様」の御協力のもと、皆で励ましあいながら、チャレンジ精神で未来の目標に向かって、悔いの無いように取り組んでまいります。



頑張る子どもたちを支えて

美郷町バドミントンスポーツ少年団

保護者会 会長 野村 由美

当団は、美郷町にある仙南小学校、千畑小学校、六郷小学校の3校が合同した、小学校1年生から6年生までの男女63名の団員で活動しています。

子どもたち全員が明るく元気にバドミントンに親しみ、各種大会に向けて日々の練習に取り組んでいる姿を見てみると、私達保護者も自然と熱が入り、励まし、時には発破をかけながら練習を見守っています。

コーチの方々や卒団した多くのOB・OGの皆さんも学年やレベルに合わせて丁寧に指導して下さることも大変有難く、とても感謝しております。

新しい練習メニューに戸惑いながらも一生懸命に、真剣な眼差しで取り組む様子からは、子どもたちの、楽しい、もっと上手になりたい、強くなりたい、試合に勝ちたいという気持ちが感じられます。このように練習に励んでいる子どもたちは、本当にキラキラしていて素晴らしいなと思いますし、子どもたちの吸収する力の大きさにも驚きを感じています。

これからもバドミントンを通して心と体を鍛え、出会った仲間を大切に、健やかな成長を願いながら、保護者として支えていきたいと思っています。



目指せ世界の頂点!



がんばる
ジュニア
応援します



あらゆるニーズにお応えする

松原印刷社

〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29

TEL 018-862-8760(代)

FAX 018-863-0005

<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

E-mail:matsubara@matsubarainsatsu.co.jp

日本スポーツ少年団顕彰・秋田県スポーツ少年団表彰

日本スポーツ少年団より功績のあった市町村スポーツ少年団、登録指導者に贈られる賞で、令和3年度は、市町村スポーツ少年団1団、登録指導者7名に伝達された。また、秋田県スポーツ少年団では、功労者10名、優秀指導者5名、優秀単位団6団、優秀母集団1団、退任参与感謝状2名を表彰した。

- 期 日 7月8日(金)
- 会 場 ANAクラウンプラザホテル秋田

令和3年度日本スポーツ少年団顕彰

◎市町村スポーツ少年団
三種町スポーツ少年団

◎指導者

金持 英一(秋田市)、吉田 尚之(秋田市)、
佐藤 孝志(秋田市)、成田 一雄(由利本荘市)、
佐藤 勝(大仙市)、渡邊 良一(潟上市)、
伊藤 善尚(八郎潟町)



令和3年度秋田県スポーツ少年団表彰

◎功労者

宮原 忠志(秋田市)、高橋 修正(秋田市)、
安孫子直樹(能代市)、大馬 重昭(大館市)、
杳澤 進(湯沢市)、佐々木 崇(大仙市)、
桐原 保(大仙市)、三浦 義彦(潟上市)、
櫻庭 仁(潟上市)、松永 姫子(にかほ市)

◎優秀指導者

佐藤健太郎(秋田市)、石田妃登美(秋田市)、
富樫 章雄(大館市)、岡部 賢哉(大館市)、
加藤 泉(八郎潟町)

◎優秀単位団

保戸野野球スポーツ少年団(秋田市)
牛島野球スポーツ少年団(秋田市)
HIROOMOTE 女子ミニバスケットボールスポーツ少年団(秋田市)
御野場石川道場スポーツ少年団(秋田市)
協和柔道スポーツ少年団(大仙市)
大曲ファイヤーウインズスポーツ少年団(大仙市)

◎優秀母集団

広面スポーツ少年団育成会(秋田市)

◎退任参与感謝状

石川 政昭(秋田市)、鎌田 亮(秋田市)



Tombow

最後まで、驚くほど軽く引ける

テーパのり 新基準 独自機構「エアータッチシステム」搭載

- エアータッチシステム
- 新開発 パワーネット テープ
- 静音設計
- エアーフットヘッド

エアータッチ
PIT AIR

テーパのり ビットエア 400円+消費税



オリジナルギフトや
記念品に!

【テーパのり】ビットエア



別注・お名入れ対応も可能です。

お見積り・ご注文は、お近くの文具取扱い店様へお問合せをお願いします。

インクジェット
印刷対応

小ロットに
最適

株式会社トンボ鉛筆
https://www.tombow.com